

『学校力向上に関する総合実践事業』コーナー その2

前回の学校便りから掲載を始めたコーナーですが、今号においても本校の具体的な取組についてお知らせさせていただきます。

今回は『各学年の学力向上』のための取組の工夫（朝学習・朝読書と放課後学習：チャレンジタイム）の紹介です。

まず、朝の取組ですが、8：10～8：25の15分間に学習時間（1か月のうち1週間は読書の時間）を位置付けています。昨年度までは、職員による朝の打合せも8：10～8：25の時間帯で行っていましたが、今年度からは8：05～8：10と、開始時刻を早めるとともに時間短縮を図り、8：10からの朝学習に担任がしっかりとついて、個別の指導・フォローをすることを可能にしました。



朝学習で主に取り組ませている内容は、前学年までの漢字や計算です。日常の授業時間だけでは、なかなかしっかりと振り返ることのできない学習内容の定着度を確かめる貴重な時間となっています。特に、前学年までの漢字の「書き」については、忘れてしまっていることもあり、この時間に振り返らせることで漢字の定着を高めることをねらっています。また、週末の朝学習で定期的に漢字の短問テストを実施している学年も多く、子どもたちは張り切って取り組んでいます。

本の楽しさを味わわせ読書習慣を確立することをねらいに行っている朝読書についても、担任が子どもと一緒に読書をすることで、以前よりも本と真剣に向き合い、集中して読書に親しんでいる子どもたちの姿が多く見られています。



そして、放課後学習ですが「チャレンジタイム」という名称にして、毎週水曜日の14：20～14：40の20分間に全学年の子どもたちが補足的な学習に取り組んでいます。（1週間で唯一の全学年5時間授業の日です。会議等も多い曜日なので「ノー清掃デイ」にして取り組んでいます）短い時間ではありますが、子どもの理解度が十分ではない内容の繰り返し学習に取り組ませたり、発展的な内容（資料から読み取ったことを自分の言葉

でまとめる等、活用力を伸ばす内容）に取り組ませたりしています。チャレンジタイムでは、担任外の先生方も各学年に入り、複数体制で指導・支援にあたっているとこです。

『全ての子どもたちに基礎学力を保障する』ために、日課表を工夫して、子どもと向き合う時間を確保しながら取り組んでいます。各家庭におかれましても、この取組にご理解いただくとともに、家庭学習の取組・生活習慣の確立などへのご協力をよろしくお願いいたします。

また、今年度は、昨年度の各学年の国語と算数の標準学力検査（CRT）：2月実施の結果を踏まえ、「各学年の学力向上プラン」を作成（下記参照）し、国語と算数における重点的な指導方法や到達目標を明確にして、何よりも一時間一時間の授業を大切にしたい実践に努めています。

（4年 学力向上プランの例：一部抜粋）

【算数】

数と計算 四則計算の学習において、計算プリントや宿題を活用し、繰り返し練習する機会をつくる。また、筆算での位取りなどを丁寧に任せ...（以下略）

【到達目標】

漢字 3年生までの漢字（音・訓）を正確に読み、8割以上書くことができる。

音読 句読点や言葉のまとまりに気をつけ、つまずかずに読める。会話文...（以下略）